

2022年8月1日更新

2022年4月9日作成

書籍をご購入いただいたみなさまへ

大原出版株式会社

2022年対策 旅行業務取扱管理者試験
標準テキスト 3. 国内旅行実務 改訂のお願い

平素よりご愛顧いただき誠にありがとうございます。

法改正の影響により、本書の記載内容に改訂が生じております。

ご購入いただいたみなさまには大変お手数をおかけいたしますが、下記該当書籍及び改訂箇所をご確認のうえ、ご使用いただきますようお願い申し上げます。

該当書籍

- ・2022年対策 旅行業務取扱管理者試験
標準テキスト 3. 国内旅行実務 8版（2022年3月15日発行）
ISBN 978-4-86486-901-0

改訂内容

頁	内 容
51～54ページ	JR九州では、JR九州内の在来線の特急列車に適用される特急料金の指定席特急料金に新たに繁忙期が設定され、乗車日（シーズン）によって繁忙期と通常期の2段階となりました。繁忙期は、4月1～5日、4月28日～5月6日、7月21日～8月31日、12月25日～1月10日、3月21～31日です。

★JR北海道内の在来線・JR東日本の一部の特急列車（「ひたち」「ときわ」「あずさ」「かいじ」「踊り子」「湘南」など）を利用する場合

時 期	特急料金	シーズン別
通常期	料金表の額	通年

★JR九州内の在来線の特急列車を利用する場合

時 期	特急料金	シーズン別
繁忙期	通常期+200円	4/1～4/5, 4/28～5/6, 7/21～8/31, 12/25～1/10, 3/21～3/31
通常期	料金表の額	通年

<p>109～113ページ</p>	<p>山形新幹線及び秋田新幹線で、新幹線と在来線をまたがって普通車指定席を利用する場合で、新幹線と在来線を直通方向に利用するとき に限り、在来線区間の特急料金は「新幹線と在来線をまたがって利用 の場合の特急料金（在来線のみを利用する場合の通常期指定席特急料 金の額から座席指定料金の 530 円を差し引いた額）」を適用します。 なお、<u>指定席特急料金のシーズン別料金（最繁忙期+400 円、繁忙期 +200 円、閑散期-200 円）は、東北新幹線の特急料金のみ適用し、 在来線区間の特急料金には適用しません。</u> <u>よって、〔計算 65〕の② 在来線（福島～新庄）の特急料金の『奥羽 本線：新幹線と在来線にまたがって利用の場合の特急料金』は、『1、 580円』になります。</u></p>
<p>190～191ページ 215ページ 問25 問題と解答</p>	<p>山形新幹線及び秋田新幹線で、新幹線と在来線をまたがって普通車 指定席を利用する場合で、新幹線と在来線を直通方向に利用するとき に限り、在来線区間の特急料金は「新幹線と在来線をまたがって利用 の場合の特急料金（在来線のみを利用する場合の通常期指定席特急料 金の額から座席指定料金の 530 円を差し引いた額）」を適用します。 なお、<u>指定席特急料金のシーズン別料金（最繁忙期+400 円、繁忙期 +200 円、閑散期-200 円）は、東北新幹線の特急料金のみ適用し、 在来線区間の特急料金には適用しません。</u> <u>よって、ポイントチェックの正解は「b」になります。</u></p>

以 上